

# 山行報告書

報告書作成

2012年7月23日

山名 [山域]	硫黄岳	目的と方法	高山植物鑑賞
登山期間	2012年7月14日～15日	山行形態	1泊2日テント泊
参加人数	4名		

## 行動記録

7/14(土) 岡崎(5:00)=30=豊田東IC(5:30)=105=駒ヶ岳SA(7:15,7:40)=35=諏訪IC(8:15)=60=桜平P(9:15,9:45)-40-夏沢鉱泉(10:25,10:40)-55-オーレン小屋(11:35,12:25)\*テント設営-85-硫黄岳(13:50,14:10)-35-赤岩の頭(14:45,14:50)-50-オーレン小屋(15:40)  
 7/15(日) オーレン小屋(7:40)-50-根石岳山荘付近(8:30,8:35)-35-オーレン小屋(9:10,9:50)\*テント撤収-80-桜平P(11:10,11:25)=35=河原の湯(12:00-13:05)=30=諏訪IC(13:35)=5=諏訪湖SA(13:40-14:25)=115=鞍ヶ池SA(16:20,16:40)=5=豊田東IC(16:45)=30=岡崎(17:15)

## 概念図



## 日誌

3連休初日であったが、道路渋滞に巻き込まれることなく桜平駐車場に到着。すでに満車であり、道路脇のスペースを確保し駐車することができた。駐車場からオーレン小屋までは歩きやすい登山道で、高山植物を楽しみながら散策することができた。テント設営し、その後はピストンで夏沢峠を経由し硫黄岳を目指した。稜線に入ってからかなりの霧と風であったが、霧の合間から爆裂火口など景色を楽しむことができた。山頂到着時はあたり一面の霧であり、残念ながら南八ヶ岳の展望を楽しむことはできず、またウルップ草の咲いている硫黄岳山荘付近に行くことも危険と判断。帰りは赤岩の頭を経由し下山した。翌日再度ウルップ草鑑賞のリベンジを計画したが、朝から悪天候であったため予定を変更し、根石岳山荘付近へコマクサの鑑賞に向かった。こちらも稜線に入ってからかなりの霧と風であったが、コマクサの鑑賞をすることができた。その後テント場へ戻りテント撤収し、駐車場に戻った。駐車場はさらに混み合っており、脇のスペースにもぎっしり車が駐車されている状態で、その合間を緊張しながら走行した。帰りも大きな渋滞に巻き込まれることなく、途中で温泉+昼食摂取し、順調に帰宅することができた。

## 感想

八ヶ岳に咲くさまざまな高山植物のレクチャーを受けながら、登山を楽しむことができた山行でした。また稜線に入ってから強い風と霧を初めて体験し、自然の厳しさも体験できました。私自身としては、前週の新人テント泊合宿で学んだことをいろいろ思い出しながら復習する機会となり良かったです。